

観光・文化

(1) 管内観光客入込み動向

	(単位：人)		(単位：人)	
	令和4年		令和5年	
	観光入込み客数	宿泊客	観光入込み客数	宿泊客
菊池市	3,406,485	-	3,536,958	-
合志市	1,268,334		1,296,672	
大津町	2,173,545		1,511,759	
菊陽町	422,921		507,946	
管内	7,271,285	506,390	6,853,335	701,879
県内	41,064,956	6,300,840	47,758,606	8,399,920

(令和4年（観光統計表）
(令和4年観光入込客統計調査)

(令和5年（観光統計表）
(令和5年観光入込客統計調査)

※平成30年より統計方法が見直され、宿泊数は地域別の推計となっている。

※入り込み客数について、市町、管内は延べ数。県内は実数。

(2) 観光関連施設

	施設名	施設概要	運営主体	オープン
菊池市	1 きくち観光物産館	ヤーコンやステビア農産物、特産品を展示販売。毎週日曜日には朝市も開催。	(有)きくち観光物産館	H5. 4
	2 菊池市交流促進センター 龍龍館・ドラゴンキャンプ場	交流スペース、カフェレストラン、特産品販売所からなる。H11国体のボート競技会場。	(株) MOFF	H9
	3 道の駅「七城メロンドーム」	国土交通省「道の駅」として登録。七城米、メロンなど農産物や特産品を展示販売。レストランも併設。	(有)七城町特産品センター	H7. 5
	4 七城温泉ドーム リバーサイドパーク	菊池川河畔の、プール・多目的ホール・クラブハウスからなる複合施設。温泉は県内最大規模のドーム型温泉施設。	(有)七城町振興公社	H8. 4
	5 四季の里・旭志	自然や動物たちとのふれあいが楽しめるアウトドア施設、ログハウス、オートキャンプ場も完備。	(株) シェルパ	H7. 7
	6 道の駅「旭志」 旭志村ふれあいセンター	国土交通省「道の駅」として登録。旭志産牛肉等農産物や特産品を展示販売、イベントホール、レストランを併設。	(有)旭志村ふれあいセンター	H6. 4
	7 道の駅「泗水」養生市場	国土交通省「道の駅」として登録。無農薬・低農薬栽培の農産物や手作り加工品を展示販売。	(有)有朋の里泗水	H13. 11
	8 有朋の里泗水 孔子公園	中国の宮廷をテーマに、孔子像を納めた中国建築の公園。物産館も併設。	(有)有朋の里泗水	H5. 4
合志市	9 熊本県農業公園 「カントリーパーク」	学習・遊び・開放感の3つの視点から農業への理解を深めるように配慮された施設。「食べる」「買う」「触れる」「遊ぶ」などの行動も、農業体験の一環となるように、農業館を核として農業公園全体がストーリー性のある展示の場となっている。	公益財団法人 熊本県農業公社	H3
	10 合志市総合健康センター 「ユーパレス弁天」	天然温泉、温水プール等を兼ね備えた複合施設。物産館では地元農産物を直売。	ユーパレス弁天 管理運営共同企業体	H13. 7
大津町	11 道の駅「大津」熊本文化の森	国土交通省「道の駅」として登録。工芸品を展示販売するほか、物産館やレストランを併設。	(株)熊本文化の森	H6. 11
菊陽町	12 菊陽町総合交流ターミナル “さんふれあ”	天然温泉、農作物直売所、御食事処やカフェレストランなどを備えた総合交流ターミナル。	(有)さんふれあ	H12. 6
	13 馬場楠井手の鼻ぐり (鼻ぐり井手)	加藤清正公が築造したと伝えられる農業土木施設。周辺に公園を整備しており、上部から鼻ぐり井手を望むことができる。2018年8月に白川流域かんがい用水群として「世界かんがい施設遺産」に登録された。	菊陽町	H15. 4

※番号は地図（次ページ）の番号と一致

〈観光関連施設マップ〉



(3) 文化財一覧

■菊池市

	指 定	種 別	名 称	所在地	摘 要
1	国	絵画	絹本著色伝菊池能運像	隈府(菊池神社)	慶長8年(1603)癸卯2月15日、22代能運百回忌に描いたものとされる。長さ3尺2寸7分(98.1cm)、幅1尺3寸(39.3cm)。
2	〃	古文書	紙本墨書菊池神社文書(41通)	隈府(菊池神社)	主として菊池氏歴代惣領の文書であり、延元より天正まで41通からなる。13代武重の「菊池家憲」は特に有名。
3	〃	無形民俗	菊池の松囃子	隈府(上町)	南北朝期、15代武光が懐良親王をお迎えして年頭の祝儀として催したものが始めとされる。10月13日に、懐良親王ゆかりの將軍木と呼ばれる棕の大木に向かって建てられた能場で演じられる。
4	〃	史跡	鞠智城跡 (※山鹿市に及ぶ)	菊池市木野 山鹿市菊鹿町	大和朝廷により大野城・基肄城と同時期(7世紀後半)に築城された朝鮮式古代山城で、土塁や貯水池跡、多くの建物跡が確認されている。
5	〃	史跡	菊池氏遺跡	北宮・深川	九州を代表する中世から戦国時代武士団、菊池氏の室町時代以前の本拠に係る遺跡。
6	〃	登録有形文化財 (建造物)	高木医院	隈府(上町)	昭和6年(1931)外科医院として建築。現在は改修され、カフェとして使用されている。瀟洒な洋風建築で、城下町隈府の昭和初期の面影を今に伝えている。
7	〃	登録有形文化財 (建造物)	旧松倉家住宅主屋	隈府(上町)	木造2階建の町家建築。昭和7年(1932)料亭として建てられ、通り側に大小の入母屋屋根、1階の窓には出格子、内装にも接客建築らしい凝った工夫が随所に見られる。
8	〃	登録有形文化財 (建造物)	宮村家住宅主屋	西寺(南古閑)	田園地帯に建つ木造平屋建、寄棟造の豪農住宅。大地主宮村眞鶴により明治終期から大正初期にかけて建築。十畳三間続きの座敷には、阿蘇五岳を刻んだ欄間飾りが施されている。
9	〃	登録有形文化財 (建造物)	宮村家住宅石垣	西寺(南古閑)	阿蘇の溶結凝灰岩を断面が台形になるよう布積みしており、総延長46メートルと民家では稀な長さを誇る。
10	〃	登録有形文化財 (建造物)	姫井橋	旭志弁利	大正14年 鉄筋コンクリート造単アーチ橋、橋長18m、幅員4.6m、親柱付 市内を流れる合志川上流に架かる道路橋。橋長18m、幅員4.6m、鉄筋コンクリート造単アーチ橋で、表面モルタル仕上げとし、道路線形に合わせて斜橋形式でつくる。径の太い2本のアーチリブの外観が特徴的。県内で最初期の鉄筋コンクリート造橋梁。
11	〃	登録有形文化財 (建造物)	菊の城本舗店舗兼主屋	隈府(中町)	昭和10年 木造平屋一部2階建、瓦葺、建築面積305㎡市街地の街路屈曲部に南面する造酒屋で、下階は広いミセと居間など、上階は上質な座敷飾をもつ接客空間を配する。建ちの高い二階建、入母屋造で正面に庇を通して出格子を設け、東端の平屋建はデンティルを飾り、洋風外観とする。街路景観の核となる酒造施設。
12	〃	登録有形文化財 (建造物)	太田黒家住宅主屋	重味(生味)	江戸末期 木造2階建、瓦葺、建築面積183㎡、太田黒家は、代々日田街道の番所の役人を務めた。2階建てで、4面に下屋をまわし、中央に式台が設けられる。壁の一部を漆喰で梁や柱の形を塗り上げるなど、外観に意匠が凝らされており、山間部にありながら格式を備え、番所の歴史を伝えている。
13	〃	登録有形文化財 (建造物)	太田黒家住宅蔵	重味(生味)	文久3年(1863) 土蔵造2階建、瓦葺、建築面積53㎡、主屋の西に建つ土蔵。北側の庇(ひさし)付きの片開窓がアクセントとなる。南側には、約3mの平屋が張り出しており、味噌蔵として使用された。主屋とともに歴史的景観を形成している。
14	県	建造物	寺尾野の宝篋印塔	龍門(寺小野)	塔の高さ2.3mで、欠損なく残っている数少ないものの一つ。天授4年(1378)銘がある。

15	〃	建造物	永山橋(眼鏡橋)	原(永山)	小国往還を結ぶ橋として、明治11年(1878)完成。石工棟梁は橋本勘五郎(丈八)。総長61m
16	〃	建造物	立門橋(眼鏡橋)	重味(立門)	上津江往還を結ぶ橋として、万延元年(1860)完成。石工棟梁は宇市(橋本勘五郎の兄)。総長75m
17	〃	建造物	円通寺の石門	旭志弁利(岩本)	天保の頃作られたとされるアーチ式の石門。アーチ部分の幅2.6m、高さ1.8m、寄棟の屋根がある。
18	〃	絵画	紙本著色秀山元中和尚画像 紙本著色大方元恢和尚画像	隈府(熊耳山正観寺)	正観寺の秀山元中和尚の肖像で、元の僧梵琦の賛「至正二十四年(1364)」がある。大方元恢和尚も同じく梵琦の賛「至正二十六年(1366)」がある。
19	〃	絵画	紙本著色菊池為邦画像	菊池神社に寄託(七城町亀尾)	為邦は菊池氏の20代惣領。賛は、加藤清正に招かれた碧巖寺中興の祖、清韓による。慶長17年(1612)6月の年記あり。
20	〃	絵画	絹本著色不動明王画像	亘(輪足山東福寺)	古くから東福寺に伝わったもので来歴不明。作風からみて室町前期と推定される。
21	〃	彫刻	木造千手観音立像 脇侍木造不動明王立像 ・木造毘沙門天立像	亘(輪足山東福寺)	本尊の高さ1.77m、平安末の特徴あり。不動明王は高さ1.27m、毘沙門天は高さ1.67m。ともに室町前期作。
22	〃	彫刻	木造僧形男神坐像	隈府(菊池神社)	14代武士の像と伝えられ、もとは北宮阿蘇神社にあった。「大願主肥後守藤原朝臣武朝、願主宇治氏女慈俊、応永…」とあり、応永十年(1403)の作とみられる。
23	〃	彫刻	木造男女神坐像	北宮(北宮阿蘇神社)	男女神各5軀、各神像の底銘があって、大願主は菊池武朝、願主は菊池家の男女、応永十年(1403)の作。
24	〃	工芸品	玉祥寺の梵鐘	玉祥寺(江月山玉祥寺)	玉祥寺は20代為邦が建立したもので、梵鐘は高さ68cm、口径38cmを有し、銘文によると明応5年(1496)の作。
25	〃	工芸品	脇差 同田貫上野介	七城町砂田	同田貫上野介兵部又八の代表作。刀身表に蓮華、上部に楊柳観音、裏に愛染明王の梵字を彫る。
26	〃	考古資料	木柑子石人	木柑子	木柑子古墳の前方部凹地に立っている。短甲をつけ、左手を腰に当てている。高さ109cm。
27	〃	有形民俗	菊池松囃子能場	隈府(上町)	将軍木に面して建つ能舞台とその周辺を「能場」という。松囃子が奉納され、能舞台の下には音響効果のため甕がある。
28	〃	史跡	聖護寺跡	班蛇口(鳳来)	南北朝の頃(正平年間)大智禅師により建立され、菊池氏の厚い庇護を受けた。比丘尼寺跡を含む。

	指 定	種 別	名 称	所在地	摘 要
29	県	史跡	正観寺の礎石群	隈府(熊耳山正観寺)	地蔵堂の裏に東西4間、南北3間の礎石列が残っている。平安後期の建造物が想定され、菊池の文化史上重要な史跡。
30	〃	史跡	袈裟尾高塚古墳	袈裟尾	直径24.5m、高さ4.7mの円墳。横穴式石室石屋形奥壁に線刻の装飾文様(三角文など)をもつ。現在は熊本地震の影響により内部非公開。
31	〃	史跡	長明寺坂古墳群	七城町林原・亀尾	3基の円墳。1号墳直径18m、横穴式石室をもつ。2号墳直径23m、3号同16m。ともに未開口。
32	〃	史跡	藤尾支石墓群	旭志弁利(岩本)	弥生中期の支石墓群。発掘調査報告書によれば、支石墓9基、積石墓4基などが確認されている。
33	〃	天然記念物	正観寺の樟	隈府(熊耳山正観寺)	樹高34m、目通幹囲7.5m。菊池氏の菩提寺正観寺とともに長い歴史を有する。直下に15代武光の墓がある。
34	〃	天然記念物	妙蓮寺の樟	隈府(妙蓮寺)	樹齢は推定で600年以上とされ、地上10mより6本の太枝を出し、樟の巨樹として著名である。
35	〃	天然記念物	将軍木	隈府(高野瀬)	古来よりこの樹を懐良親王に見立て、毎年「松囃子能」が開催された。懐良親王のお手植えともいわれ、棕の巨樹として古くから有名。
36	〃	天然記念物	菊池高校の チャンチンモドキ	隈府(高野瀬)	幹囲3.7m、樹高25m、ウルシ科の落葉高木、全国的にも稀な樹木。

■合志市

1	国	史跡	二子山石器製作遺跡	野々島	縄文時代後期～晩期。打製石器の原料獲得から製作までの過程がわかる。
2	〃	登録有形文化財(建造物)	旧熊本回春病院日光回転家屋	栄	昭和初期／昭和49移築 木造平屋建、板葺、建築面積4.2㎡ ハンセン病救済施設内に日光浴を目的として建設された施設。床下5ヶ所に鑄鉄製キャスターを付け、建物全体が回転する。木造平屋建で、面積は4.2㎡。外壁は縦板張で、正面一杯に両開双折戸をたてる。機能に応じた、工夫がみられる建築である。

■大津町

1	国	重要文化財(建造物)	江藤家住宅	陣内	江戸時代の武家の格式をもった豪農の屋敷であり、今なお生活の場として続いている。主屋・長屋門・中の蔵・馬屋・裏門の五棟を中心とする屋敷構え。建物の構造(六間庄屋造)書院、庭園、絵画等は素晴らしいものである。
2	国	天然記念物	阿蘇北向谷原始林	内牧	阿蘇南側外輪山腹の標高約200mから800mにいたる約82haの原始林、常緑広葉樹を主とする照葉樹林帯。
3	県	史跡	無田原遺跡	矢護川	縄文早・前期の配石遺構である。角礫を円形に配置、直径180cmぐらい。3基確認。併せて、弥生前期の瓶棺墓。16基確認。
4	〃	天然記念物	天神森の棕	町	標高15m余、目通幹囲7.75m。樹齢500～600年。昔から「棕殿様」と称して祭る。

5	国	登録有形文化財 (建造物)	岡本家住宅主屋	森	天保11年 木造2階建、瓦葺、建築面積349㎡ 岡本家は、大友家の家臣を祖と伝え、その没落後に帰農し幕末期に細川藩の士族となった家である。主屋は、2重屋根や腰のなまこ壁に特徴がある。明治期の増改築がみられるが、主体部の建立年代が棟札によって明らかで、熊本県北部の在郷武家住宅の好例である。
6	〃	登録有形文化財 (建造物)	岡本家住宅馬屋	森	天保11年頃／昭和初期改造 木造平屋建、瓦葺、建築面積34㎡、板塀附属 馬屋は、屋敷地の南東隅にあり、南側の道路に沿って建つ。道路側に下見板を貼り意匠を整えた建物で、昭和初期頃に2階部分を縮小する等の改造を行ったと伝える。
7	〃	登録有形文化財 (建造物)	岡本家住宅三階の倉	森	明治中期 木造3階建、瓦葺、建築面積41㎡、板塀附属 屋敷地の北東、主屋の北側に建つ切妻造、妻入、3階建の土蔵。什器や衣類等を収納した。腰になまこ壁を用い、2階部分に水切り瓦を廻すなど、凝った意匠の倉で、岡本家が明治期以降も地主として繁栄したことを示している。
8	〃	登録有形文化財 (建造物)	岡本家住宅南の倉	森	明治中期 木造2階建、瓦葺、建築面積55㎡、板塀附属 屋敷地の南西隅に建つ切妻造、平入、2階建の土蔵。三階の倉と比較すると軒に鉢巻を用いないなど簡略な意匠になるが、腰に下見板を貼り、屋敷地境に建つ塀や馬屋と意匠をあわせている。米の貯蔵等に用いられたと伝える。
9	〃	登録有形文化財 (建造物)	岡本家住宅表門	森	江戸末期 木造薬医門、瓦葺、間口2.4m、袖塀及び板塀附属 主屋の西方、屋敷地の正面(西面)にある両袖塀付の薬医門。袖塀の両側に、さらに板塀が接続している。敷地内に引き込んだ位置に建ち、袖塀に屋根を付けて腰に板を貼るなど武家の門らしい構えをつくる。近年修理されたが、主要部材はよく保存されている。
10	〃	登録有形文化財 (建造物)	岡本家住宅裏門	森	江戸末期 木造薬医門、瓦葺、間口2.0m、板塀附属 屋敷地の南面、馬屋と南の倉の間に建つ小規模な薬医門。西は南の倉に接し、東は馬屋との間に板塀を設ける。簡略な意匠の門だが、板塀とともに南の倉・馬屋に貼られた壁板と高さをあわせて、道路に面した南側の景観を整えている。
11	〃	登録有形文化財 (建造物)	岡本家住宅外便所	森	昭和初期 木造平屋建、瓦葺、建築面積2.1㎡、板塀附属 主屋と裏門の間に建つ小規模な建物。全体に簡素な形式になるが、足元廻りに煉瓦を貼り、左右の窓の位置をかえ、屋根を食い違い状にして換気が十分にとれるようにするなど、意匠に一定の配慮がなされている。
12	〃	登録有形文化財 (建造物)	岡本家住宅塀	森	江戸末期 板塀、瓦葺、延長17.2m 屋敷地の西側を仕切る屋根付の板塀。表門南側に附属する板塀や裏門東に附属する板塀と一連の意匠になるが、基礎に玉石を積んで建て、屋敷地側に石造の控え柱を立てる点は他と異なる。在郷の武家の屋敷構えを示す主要な構成要素のひとつである。
13	〃	登録有形文化財 (建造物)	岡本家石橋	森	明治期 石造、長さ2.6m、幅員2.5m 表門の正面に位置する小規模な石造桁橋。屋敷地の西面を走る道路と屋敷地との間に設けられた幅の狭い水路に架かる。両端の石材の上面ををわずかに曲線状につくり、屋敷地側に小さな親柱を設けて意匠を整える。
14	〃	登録有形文化財 (建造物)	岡本家住宅浄化槽	森	昭和初期 鉄筋コンクリート造、最大高さ4.3m 主屋と馬屋の間、屋敷地東端部に建つ。コンクリート製の筒を上部に積み上げた形で、用水の水(後に井戸水)をポンプアップして炭・砂等で濾過する仕組みである。この地区に多くみられたが現存するものは少なく、生活の近代化を示す工作物として貴重である。

15	〃	登録有形文化財 (建造物)	江藤家住宅主屋	町	江戸末期 木造平屋建、大津町の農村集落にある、在御家人という家格を持つ農家。主屋は敷地中央に南面して建つ。2棟突出する角屋(つのや)の間を合いの間で繋ぐ平面形状に特徴があり、当地区の近世農家の様相を伝える。
16	〃	登録有形文化財 (建造物)	大田黒家住宅主屋	下町	江戸末期 木造2階建、瓦葺、建築面積286㎡、大津町の農村集落にある在御家人の旧宅。南正面に式台を構える。座敷廻りの欄間や襖絵が内部を華やかに飾っており、特徴的である。
17	〃	登録有形文化財 (建造物)	大田黒家住宅蔵	下町	大正2年 土蔵造2階建、瓦葺、建築面積58㎡、主屋の南側に建つ。北面は漆喰で柱と梁の形を塗り上げる独特な意匠。旧家の家格を示す重要な遺構。
18	〃	登録有形文化財 (建造物)	坂本家住宅主屋	下町	江戸末期 木造2階建、瓦葺、建築面積263㎡、大津町の農村集落にある在御家人の旧宅。正面に式台を構える。内部は、広い土間と四間取りとし、東側に上質な座敷が張り出す。全体的に天井が高く、座敷の壁の飾り等を含め、のびやかで上質な造りである。
19	〃	登録有形文化財 (建造物)	坂本家住宅門	下町	江戸末期 木造、瓦葺、間口2.6m、主屋正面に位置する表門。薬医門形式で、正面側に板天井を張り、引戸を立てるのは珍しい。在御家人の屋敷としての風格を現す。

■菊陽町

1	県	無形民俗	津森神宮お法使祭 (※益城町、西原村に及ぶ)	戸次・馬場楠・曲手・辛川	益城町・菊陽町・西原村の12地区にまたがる祭り。12年に一度、祭神である「お法使さん」を迎える地区は、仮設の神殿「お仮屋」を設けて1年間祀る。次の地区への受け渡しの途中で、ご神体を乗せた神輿を地面に落とす珍しい祭りである。
2	県	史跡	馬場楠井手の鼻ぐり	曲手・辛川間	17世紀初頭に築造された農業用水。菊陽町馬場楠の取水口から熊本市渡鹿までの全長約12km、受益面積162.65ha。水速・水質を調節する「鼻ぐり」は類例のない遺構。開削型水路の当初の形態・機能を保ちつつ、改変を加え現在まで継続して使用されている点は貴重である。